

令和6年7月11日  
山梨県環境・エネルギー部大気水質保全課  
課長 野中 俊宏  
電話 055-223-1511 (内線 6400)

報道関係者各位

## リニア工事発生土仮置き場地下水からのセレン検出に係る経過報告

リニア中央新幹線建設工事の発生土仮置き場（早川町塩島地区（南）発生土仮置き場）の地下水から環境基準を超えるセレンが検出されたことを受け、ＪＲ東海で行っていた原因究明について、7月10日に、別添のとおりＪＲ東海から経過報告が提出されました。

### ○原因究明状況

- ・現時点における調査結果からは、原因は特定されていない。

### ○主な調査結果

- ・原因としては、①工事起因（発生土に含まれるセレンの施設外への溶出）と②それ以外（仮置き場地下の土壌からの溶出）が考えられるが、今回は工事起因の可能性を検証するため、次の設備について調査し、破損がないことを確認した。
  - (1)発生土に触れた雨水を集めるための側溝
  - (2)側溝の水を一時的に貯める集水桝
  - (3)集水桝の水を水槽に送る送水管
  - (4)送水管から送られた雨水を廃棄物処理（搬出）するまで貯めておく水槽
- ・また、機器（(2)から(4)へ送水するためのポンプ）の作動状況に問題はなく、故障歴がないこと、(4)の水槽からのあふれだしがなくとも確認した。
- ・残る可能性として仮置き場底面の遮水シートの破損が考えられるが、調査には発生土を取り除く必要がある。このことから、現在、発生土の搬出・撤去を進めており、令和6年末には全量撤去が完了する見込みであり、発生土撤去後、速やかに遮水シートを調査。

### ○今後の対応（ＪＲ東海による原因究明を継続。）

- ・①（工事起因）として側溝等からのあふれだしの検証のため、仮置き場近傍の過去の雨量データ等を収集中。
- ・水質の経時的傾向把握のため、週1回の水質調査も当面継続。
- ・②（工事起因以外）の検証のため、仮置き場周辺の土壌等を調査。

＜ＪＲ東海の問い合わせ先＞ ＪＲ東海 環境保全事務所（山梨）055-236-7051

### ○その他

- ・ＪＲ東海による水質調査結果について、毎週、県からプレスリリースをしているが、水質の状況に変化がないことから、明日（7/12）をもって終了する。  
※県HPへは引き続き掲載する。